

5.長岡京跡右京第986次(7ANGTE-4地区)

・上里遺跡発掘調査報告

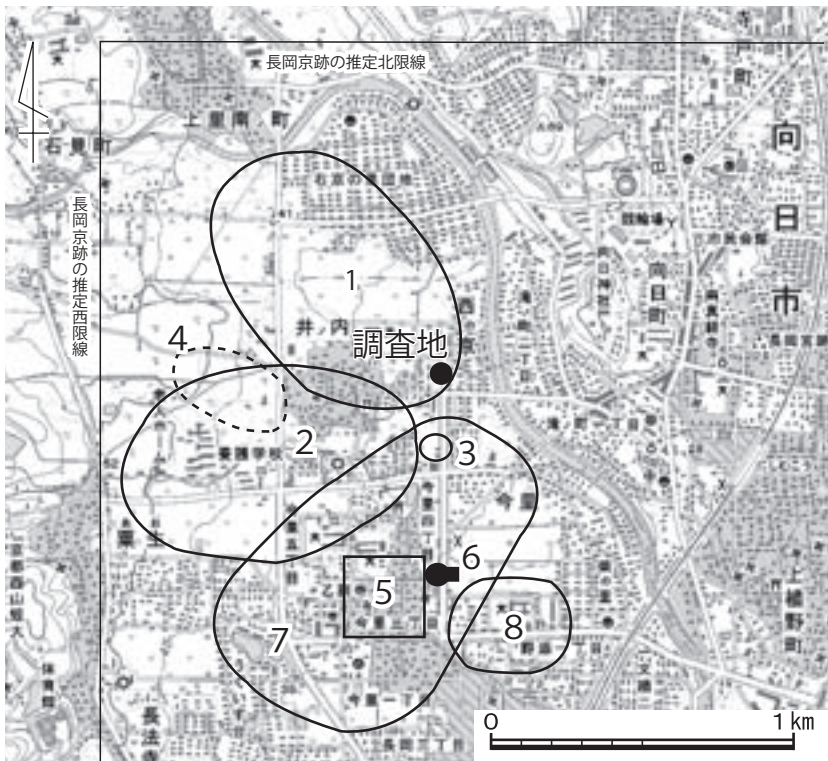
1. はじめに

今回の調査は、京都府建設交通部の依頼を受けて、都市計画道路外環状線の整備事業に伴い実施したものである。調査地は、長岡京市井ノ内玉ノ上5-1に所在する。

今回の調査対象地は、長岡京条坊復原図(新条坊)によれば、右京二条二坊十五町にあたり、縄文時代から中世にかけての遺跡である上里遺跡の範囲に含まれる。

これまでの周辺の調査では、長岡京市立第十小学校建設に伴う右京第22・25次調査で、四町規模の宅地の中心から長岡京跡の右京域では最大級の掘立柱建物跡が検出されている。隣接する長岡京跡右京第547次調査で弥生時代の溝・自然流路、奈良時代の柱列、中世の溝・柱列が検出されている。また、近年、調査地の北300mで実施された京都市上里遺跡の調査では、縄文時代晩期の集落跡、弥生時代前期の集落跡と、長岡京の道路側溝や掘立柱建物跡が検出されている。

現地調査は、調査第2課主幹調査第3係長事務取扱石井清司、専門調査員石尾政信が担当した。調査期間は平成21年10月20日から12月3日である。調査面積は360㎡である。



第1図 調査地位置図および周辺遺跡(国土地理院 1/25,000 京都西南部)

1. 上里遺跡 2. 井ノ内遺跡 3. 更ノ町遺跡 4. 井ノ内古墳群
5. 乙訓寺 6. 今里車塚古墳 7. 今里遺跡 8. 今里北ノ町遺跡

現地調査および整理作業にあたっては、多くの方々のご参加を得た。また、京都府教育委員会、長岡京市教育委員会、地元自治会をはじめ多くの方々にご指導、ご協力をいただいた。厚くお礼申し上げたい。なお、国土座標の表示は日本測地系の第Ⅶ座標系を用いている。本書は石尾が執筆した。

2. 調査の概要

調査対象地内に南北に長い4m×90mのトレン

チを設定し、表土等を重機により除去した後、人力で掘削・精査を行った。

トレンチ南部では地表下0.4～0.5mで暗紫褐色土のベース面を検出したが、暗紫褐色土のベース面は南に傾斜しており、南部分では暗紫褐色土のベース面の上に砂礫・砂が堆積していた(第3・4図65～74層)。トレンチ南端の砂礫・砂層(81・82・89・90層)からは、縄文時代晩期・弥生時代前期の土器と栗などの種子・堅果類を含む土層を確認したが、この時期の明確な遺構は検出できなかった。

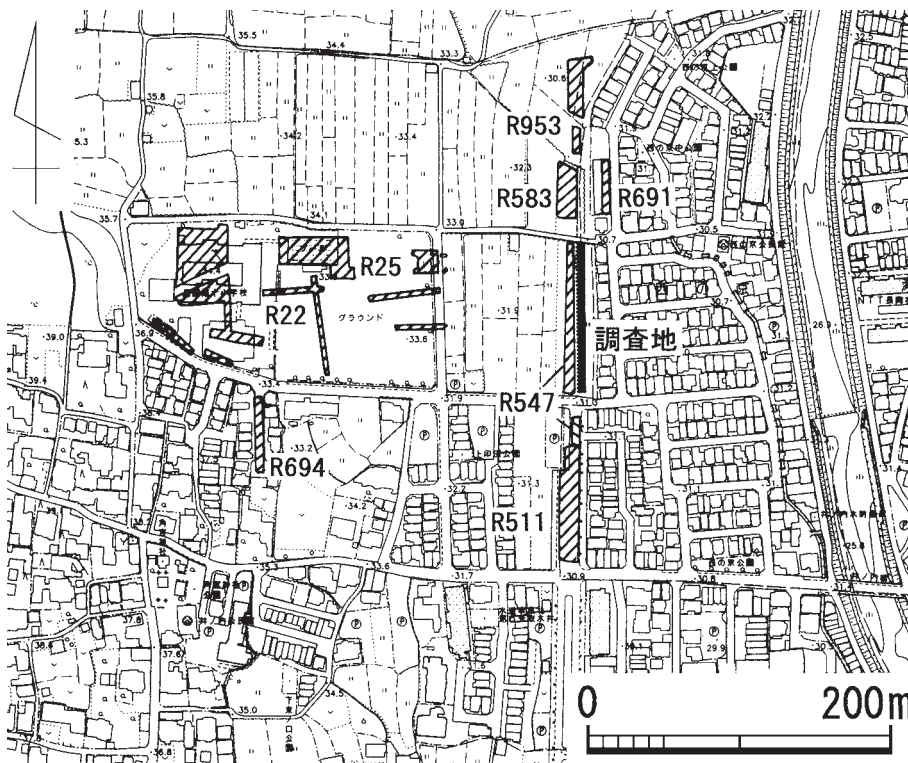
遺構は暗紫褐色土のベース面から掘り込まれ、北西～南東方向の流路跡2か所(S D01・S D02)と溝(S D03)を検出した。2か所の流路は砂礫・砂が堆積しており、これは流路S D01が第3・4図54～61層、流路S D02が第3・4図36～42層に相当する。埋土内から弥生時代～古墳時代の土器が少量出土した。溝S D03は砂(第3・4図49層)を埋土とするもので、遺物は出土していない。

暗紫褐色土のベース面の上層には、平安時代から中世の土器を含む包含層がある(62・63層)。

流路跡S D02の北側のトレンチ中央部では、遺物包含層がなく、下層で砂礫・砂が堆積した北西～南東方向の溝を確認した(第3・4図15・16・21・25層)。

トレンチ北部は、北東方向に傾斜する地形で、耕作土の下に客土層があり、その下層の灰色土(第3・4図5層)から、少量の瓦器・土師器の細片が採集できた。

今回の調査地では、トレンチ南部が長岡京跡の二条条間大路が推定される地点ではあったが、後世に削平されたためか、長岡京跡に関連する遺構は確認されなかった。



第2図 周辺調査地およびトレンチ配置図

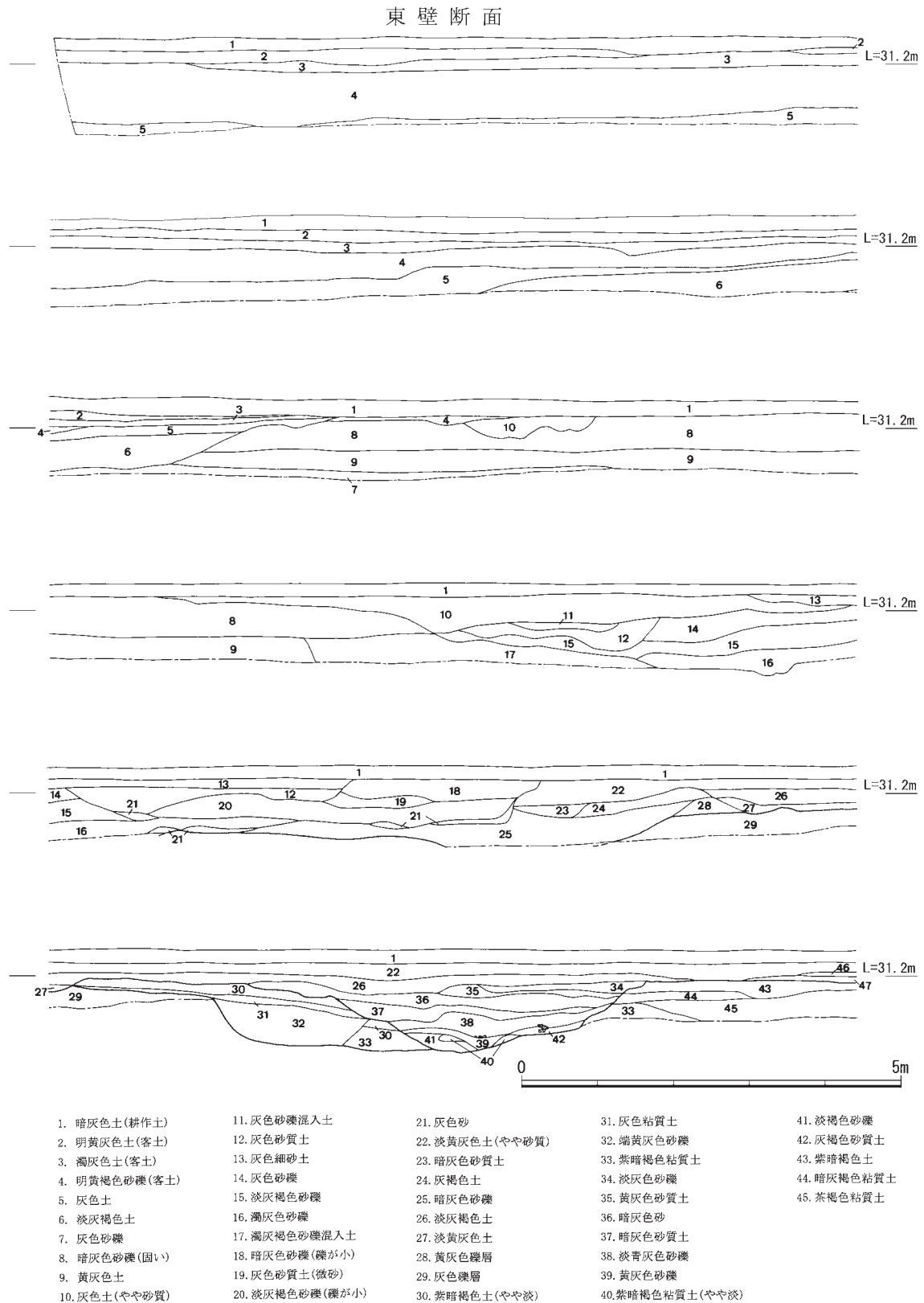
3. 検出遺構(第5図)

検出した遺構にはトレンチ南部で検出した流路S D01と流路S D02と溝S D03、中央部の下層で検出した流路S D04などがある。以下に主な遺構について記述する。

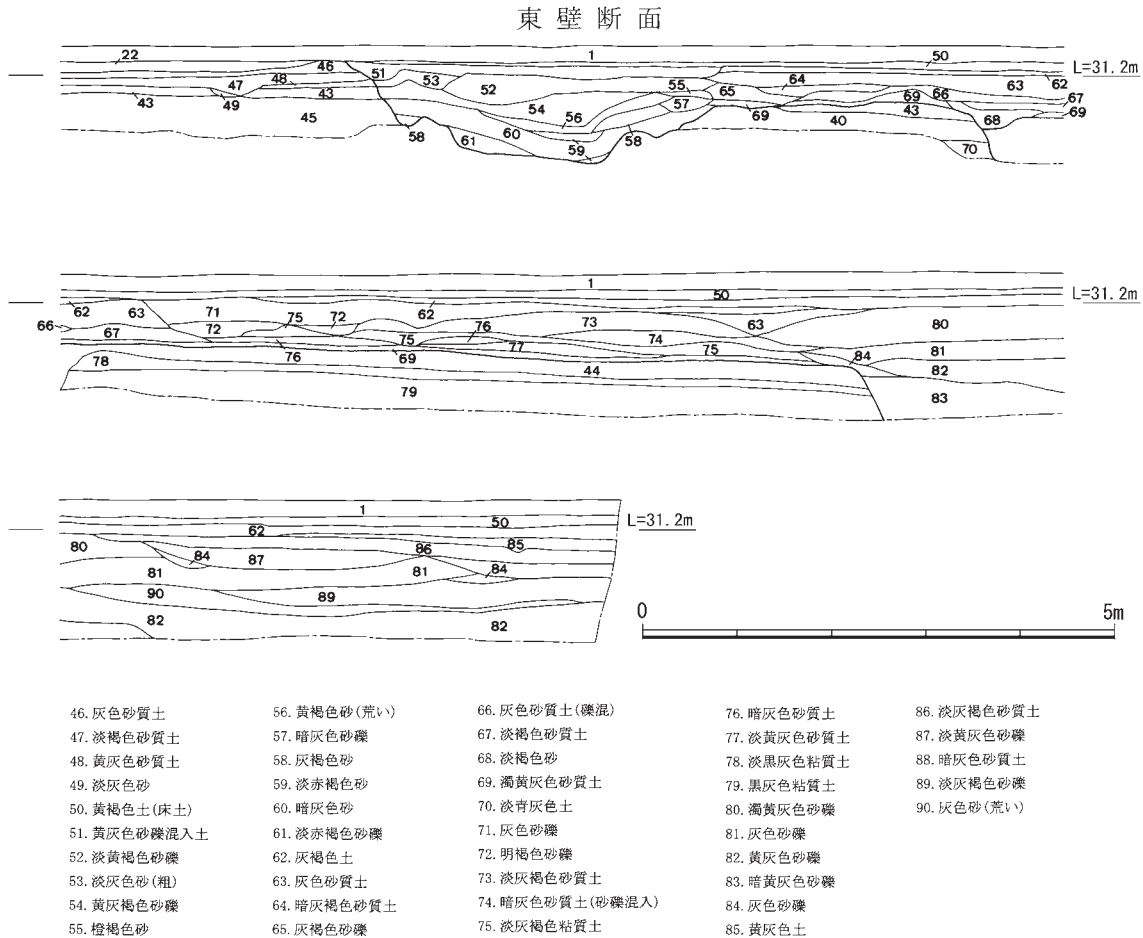
1) 弥生時代の遺構

流路S D04 トレンチ中央部の下

層で検出した北西～南東方向の砂礫・砂が堆積した流路で、幅4.0m前後を測る。トレンチ内で北東方向にも分岐している様子である。堆積層から弥生時代中期の土器片が出土した。



第3図 調査地土層実測図(1)



第4図 調査地土層実測図(2)

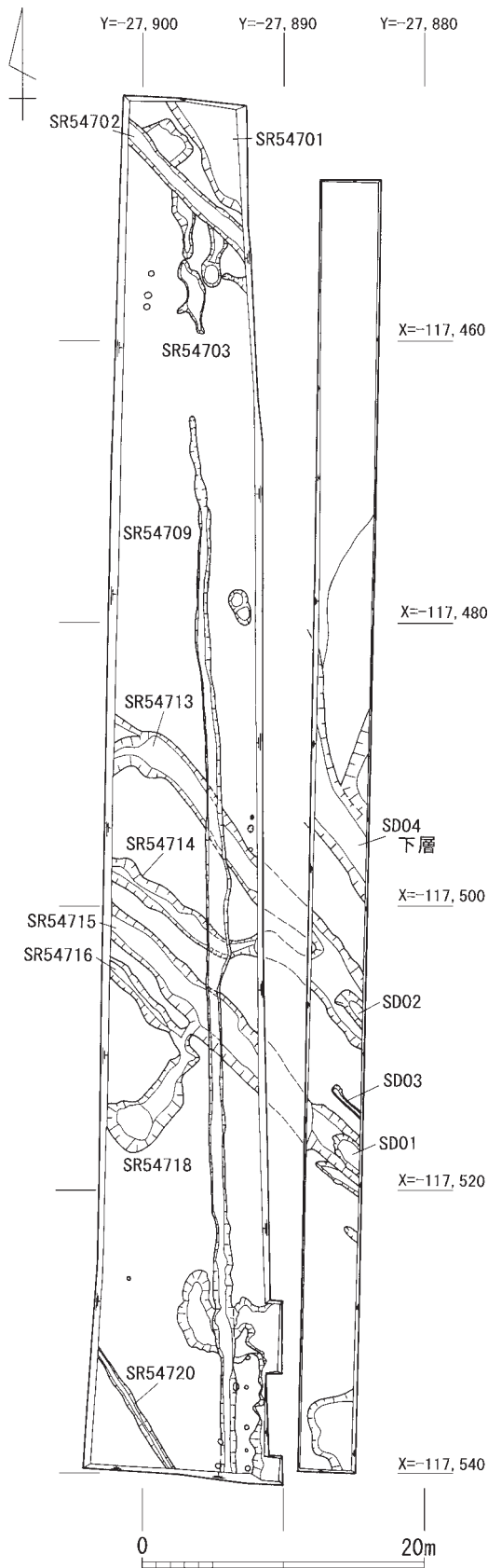
2) 弥生時代～古墳時代の遺構(第6図)

流路S D01 トレンチ南部で検出した幅約3.0m、深さ約0.7mを測る北西～南東方向の流路跡で、流路S D01内には砂礫・砂が堆積していた。流路の底部は抉られて凹凸が見られる。流路内からは少量の弥生時代～古墳時代の土器が出土した。流路S D01は右京第547次調査で検出したS D54715の延長にあたる。

流路S D02 S D01の北側5mで、これと軸を揃えて並行する流路跡である。幅約3.5m、深さ約0.8mを測る。流路内には砂礫・砂が堆積していた。流路の底部は抉られて凹凸が見られる。流路内からは少量の弥生時代～古墳時代の土器が出土した。S D02は右京第547次調査で検出したS D54713・S D54714の延長にあたる。

4. 出土遺物(第7図)

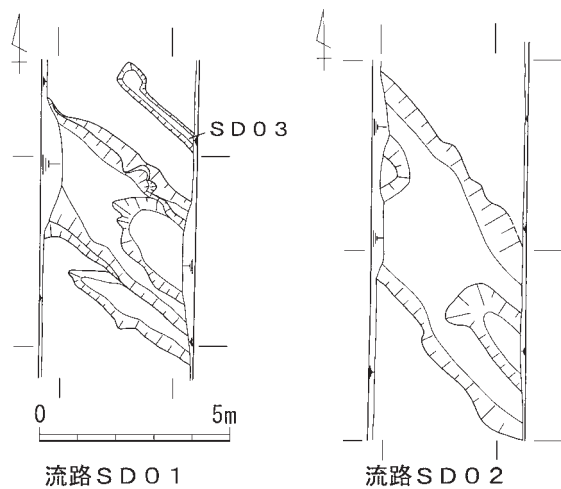
出土遺物は、S D01・S D02・S D04の流路のほか、暗紫褐色土のベース面の上面にある遺物包含層、トレンチ南端の砂礫・砂堆積土から出土した。なお、流路跡S D01・S D02出土の土器は細片で図化できるものがなかった。図化できた主な遺物は、5が流路S D04から出土したほかは、すべてトレンチ南部の砂礫・砂堆積層から出土した。



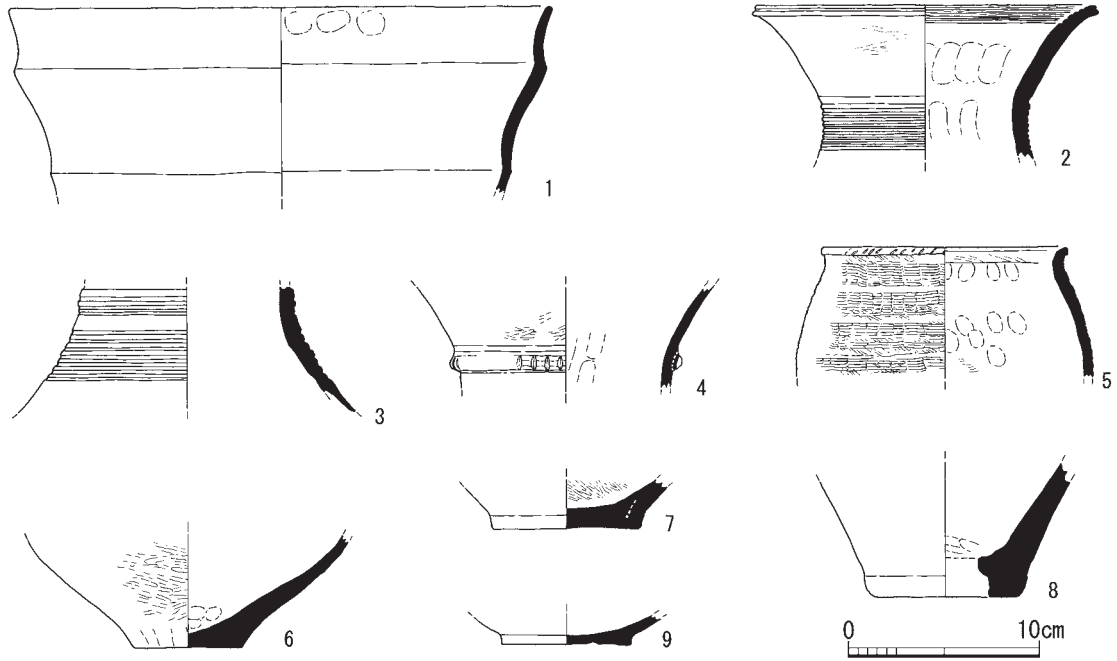
第5図 調査地平面図

右側：今回調査地、左側：右京第547次調査

1は口縁部が屈曲する深鉢である。復原口径28.4cm、残存高9.8cmを測る。焼成は良く、胎土に0.2~0.5mmの石英・角閃石・雲母・チャートなどを多く含み、暗茶褐色を呈す。搬入品と思われる。縄文時代晩期（滋賀里Ⅲ期）の所産である。2は口縁部が外反して開く弥生時代前期の広口壺で、口縁端面に沈線、口縁部内面と頸部外面にヘラ描き沈線がめぐる。復原口径17.8cmを測る。胎土に0.5~1.5mmの石英・長石・角閃石などを含み、暗茶灰褐色を呈す。搬入品か。3は広口壺の頸部で、外面にヘラ描きの沈線がめぐる。復原頸部径11.2cmを測る。焼成が良く、胎土に石英・チャートを含み淡褐色を呈す。4は広口壺の頸部で、外面に刻目が施された凸帯がめぐる。焼成が良く、胎土に0.5~1.5mmの石英・チャートを含み暗茶灰褐色を呈す。5は無頸壺の口縁部で、口縁端部に刻目を施し、体部外面にヘラ描きの簾状文を施す。復原口径13.0mmを測る。焼成が良く、胎土は密で、1mm以下の石英・チャートを含み淡褐色を呈す。6は壺の底部で、外面にヘラミガキが施される。復原底部径5.6cmを測る。焼成が良く、胎土に1~5mmの石英・チャート・褐色粒子を含み、淡褐色を呈す。7は壺の底部で、内面にヘラミガキが施される。復原底径7.8cmを測る。焼成が良く、胎



第6図 流路跡SD01・02実測図



第7図 出土遺物実測図

土に0.5~1.0mmのチャート・褐色粒子を含み外面が明淡褐色、内面が黒褐色を呈す。8は甕の底部で、調整は不明である。復原底径7.8cmを測る。焼成が良く、やや粗い胎土で0.5~2.0mmの石英・チャート・褐色粒子を多く含み淡灰褐色を呈す。9は、須恵器の削り出し高台である。復原体部径6.8cmを測る。胎土は密で焼成が良く灰色を呈す。10世紀前半のものである。

2~4、6~8は弥生時代前期(第I様式新段階)、5は弥生時代中期初頭(第II様式)の所産である。

5. まとめ

今回の調査では、トレンチ南部で弥生時代~古墳時代の遺物が出土する流路跡2か所を検出し、その北側で弥生時代の土器が混入する流路跡を確認したが、これら以外に顕著な遺構は見られなかった。調査地が小畑川に向かって傾斜する扇状地の先端部にあたることから、長岡京跡に関連する遺構は削平されたか流失した可能性が高い。また、砂礫・砂堆積層から縄文時代晩期の深鉢と弥生時代前期の壺類が出土したが、遺構は確認できなかった。この地点では遺構はなく、遺跡中心の北西部から遺物が流失し堆積したものと推測される。

調査参加者 調査補助員：武本典子
整理員：清水友佳子・小間宏美

圖 版



(1) 調査前の状況(北から)



(2) 調査トレンチ全景(北から)



(3) 調査トレンチ中央部流路跡
S D02・04(北から)



(1) 流路跡 S D01 (西から)



(2) 流路跡 S D01 (北から)



(3) 流路跡 S D01 東壁断面 (西から)



(1) 流路跡 S D02(東から)



(2) 調査トレンチ北部東壁断面
(南西から)



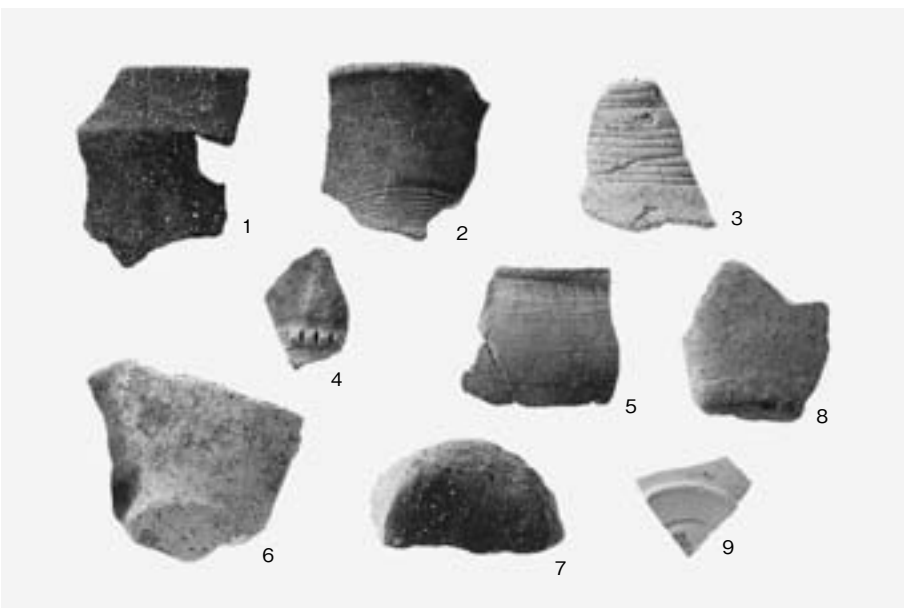
(3) 調査トレンチ南部東壁断面
(西から)



(1) 調査トレンチ全景(南から)



(2) 南壁断面(北から)



(3) 出土遺物

京都府遺跡調査報告集 第 140 冊

平成22年 3 月31日

発行 (財)京都府埋蔵文化財調査研究
センター

〒617-0002 向日市寺戸町南垣内40番の3
Tel (075)933-3877(代) Fax (075)922-1189
<http://www.kyotofu-maibun.or.jp>

印刷 三星商事印刷株式会社

〒604-0093 京都市中京区新町通竹屋町下ル
Tel (075)256-0961(代) Fax (075)231-7141